

【今更聞けない、、全抗原の発現スクリーニングをフローサイトメーターでできるの？】

フローサイトメーター実験に関する、今更聞けない質問にお答えする「今更聞けない、、」ですが、今回は、フローサイトメーターを使った抗原のスクリーニングについてお話しします。

フローサイトメーター実験では、抗体を用いて、細胞上に特定の抗原の発現があるかを確認します。抗体は様々な会社が販売していますが、1種類につき、数千円～数万円かかることが一般的です。

第1回目の本コラムにてお伝えしたように、現在ヒトでは、CD371までが認定されています。全CD抗原に対応する抗体をそろえようとする、1本5000円だとしても180万円以上もかかってしまいます。発現しているかわからない抗原に対して、そこまで予算を避けないですね。けれども、新しい細胞のプロファイルを確認することはとても重要です。

そのような時は、スクリーニングキットと呼ばれる、抗体キットの出番です。

いくつかの会社から販売されており、キットごとに測定できる抗原数や種類、標識されている蛍光色素、抗体濃度などが異なりますので、ご自身の特に確認したい抗原の有無や、使用予定のフローサイトメーターのスペック、キットのプロトコルなどによってどのキットが最も適当かをご判断ください。

BioLegend LEGENDScreen™

BioLegend社のスクリーニングキットは、ヒト抗原であれば361種類の抗原+10種類のアイソタイプコントロールのスクリーニングを行うことができます。



スクリーニングに関する参考文献は下記となります。

<https://www.frontiersin.org/articles/10.3389/fimmu.2019.01315/full>

BioLegend社のスクリーニングキットLEGENDScreen™の紹介サイト（抗原リストは下記よりご確認ください。）

<https://www.biolegend.com/en-us/legendscreen>

LEGENDScreen™ Human PE Kit (#700007 別名: Human Cell Surface Marker Screening (PE) Kit)

<https://www.biolegend.com/ja-jp/products/legendscreen-human-pe-kit-10105>

96 ウェルプレートの各ウェルに PE 標識済み抗体が 1 種類ずつ入っています。

■お題大募集中

フローサイトメーター実験についての「今更聞けない、、」なことを大募集しています。

実はよくわからないままにしていたあれこれ、この機会にぜひご確認ください！

TDB News に採用された方にはオリジナル USB メモリーをプレゼントします。

お題お申込み、過去の記事は[こちら](#)からご確認ください。